

2022年度 運輸安全マネジメントの取組み

1 輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)

- ・「輸送の安全確保」がバス事業最大の使命であることを深く認識し、社員及び役員・社員一同が安全確保に最善の努力をする事が最大の責務である。
- ・輸送の安全に関する法令・規則を遵守し、社員一人ひとりが確実に励行する。
- ・組織一体となって、安全確保に不断の努力を傾注し、お客様の信頼に応えると共に、地域社会の発展に貢献する。
- ・当社の輸送の安全に関する情報について、積極的に公表する。

2 輸送の安全に関する目標(安全目標)及び目標の達成状況、事故に関する統計

(1)2021年度に設定した目標及び目標の達成状況

目標	達成状況
死亡事故0件	達成 死亡事故0件
重大事故0件	達成 重大事故0件
軽微事故件数60%削減	未達成 軽微事故1件(有責1件、他責0件)

(2)2022年度に設定する目標

目標
死亡事故0件
重大事故0件
有責事故0件

3 輸送の安全に関する重点施策

- (1)全社員の安全意識の向上
全社員が関係法令、安全管理規程を守り、安全輸送を最優先します。
- (2)安全への投資
安全輸送への必要な支出や投資を積極的に行います。
- (3)内部監査と改善
安全輸送への取り組みについて内部監査を行い、必要な改善を行います。
- (4)情報共有の体制づくり
必要な情報を全社員が共有できる連絡体制を確立します。
- (5)教育・研修
教育及び研修を体系化し、計画的に実行します。

4 輸送の安全に関する計画

- (1)会議
 - ・運行管理者会議(年2回)
 - ・点呼者会議(年1回)
 - ・班長会議(月1回)
 - ・協力社会議(不定期)
 - ・進捗会議(月1回)
- (2)教育・研修
 - ・国土交通省の指導監督指針に沿った安全教育

- ・ドライブレコーダー映像を用いた運転技能確認(月1回)
- ・タイヤチェーン脱着研修(年1回)
- (3)事故防止
 - ・事故防止研修会実施(年1回)
 - ・立哨活動(月1回)
 - ・全社員自家用車のドライブレコーダー取付推進
 - ・全社員適性診断の受診
 - ・ヒヤリハット情報の収集及び分析、展開
- (4)健康管理
 - 全運転士に対して
 - ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)簡易検査実施
 - ・脳MRIの実施
 - 全社員に対して
 - ・35歳以上の社員に対して半日人間ドック受診(年1回)
 - ・インフルエンザ予防接種費用全額負担
 - ・ストレスチェックの実施(年1回)
 - ・感染症対策(抗原検査、PCR検査、抗体検査)

5 輸送の安全に関する投資計画

- (1)安全装備費用 … 11,432千円
 - ドライブレコーダー装着
 - ドライブレコーダー通信費
 - デジタルタコグラフ保守費用
 - アルコールチェッカー更新費用
 - 無線機導入費用
 - 車輛購入費用
- (2)安全研修・教育等費用 … 470千円
 - ISO39001道路交通安全マネジメントシステム
 - 適性診断
 - 運転記録証明書
 - 安全運転中央研修所
- (3)健康管理費用 … 2,151千円
 - 定期健康診断
 - 人間ドック
 - 感染症対策費用(インフルエンザ予防接種、抗原検査、PCR検査、抗体検査)
 - 脳MRI
 - ストレスチェック

合計…14,053千円

6 輸送の安全に関する内部監査の実施

- (1)毎月1回内部監査を実施します。監査は全部門を実施しておりますが、重大クレーム・事故などにより、管理責任者は必要と判断した場合は、臨時に内部監査を実施します。
- (2)内部監査員は、内部監査の結果を管理責任者及び被監査部門の責任者に報告し、指摘事項に対する改善・是正処置を依頼します。

7 輸送の安全に関する指揮命令系統

別紙

8 安全管理規程

別紙

9 安全統括管理者

石川裕基